No.77
2026(令和8)年
5月1日 発行

三沢市議会だより

きずな

［きずな］題字制作
三沢商業高校　小笠原　帆花　さん

TOPICS

■特集　令和７年度意見交換会
若手経営者や事業者の方とまちづくりについて

■P７　6人が登壇！一般質問レポート
防災、健康、教育問題…市政にアレコレ質問

■P12　三沢市議会新体制！
新正副議長就任、委員会等改選をお知らせ

■P16　ナイス！ミサワ
三沢のナイスな場所・人・イベントを発信！

議員と若手起業家で考えるにぎわいづくり

これからの三沢をつくるヒントがここに！

対話から生まれる、MISAWAの未来。

令和7年度意見交換会の特集はＰ2～3をご覧ください。

議会の活動をもっと身近に！
チェック＆フォローお願いします！

三沢市議会 facebook
三沢市議会 Instagram

特集

議員と若手起業家で考えるにぎわいづくり

2月19日（木）、三沢市国際交流教育センターにおいて、市民と市議会との意見交換会が行われました。

今回は、市内で事業に携わる若手経営者、関係事業者の方19人、議員16人と合わせて総勢35人での開催となりました。A～Eのグループに分かれ、結論を出さない、対話を重視するワールドカフェ方式で実施し、どうすれば三沢市をよりよいまちにできるのか、当市議会アドバイザーの中道俊之さんに進行役を務めていただきながら、自由で活発な意見交換がなされました。

令和7年度意見交換会概要

◇テーマ

議員と若手起業家で考えるにぎわいづくり
① 三沢市で事業を続ける中で感じている魅力と課題
② 若手でできる、にぎわい創出のためのアイデア
③ 議会がやるべきこと・議会と一緒に取り組みたいこと

◇手　法

ワールドカフェ方式（席替えをする井戸端会議）

◇ワールドカフェのエチケット

①問いに意識を集中する
②一人だけが話しすぎない
③否定をせず、断定しない
④沈黙を歓迎する
⑤あ！という気付きを大切に
⑥落書きやメモをする

意見交換会閉会後、参加者で記念写真

＼意見交換会の流れ／

STEP 1 アイスブレイク

話題は「ミラノ・コルティナ五輪」について。
話すうちに少し緊張もほぐれてきたようです。

STEP 2 第1ラウンド（体験共有）

事業を続ける中での三沢の強み、残念に思うことの2点について具体的に話し合う。

STEP 3 第2ラウンド（未来共有）：席をシャッフル

今回はテーブルに議員ひとりを残し、他の方は席を移動。第１ラウンドの情報共有後に「にぎわい創出のためのアイデア」について話し合う。

STEP 4 第3ラウンド（議会との接続）

元の班に戻り、第2ラウンドで話した取り組みを進めるために議会に期待すること、一緒に取り組みたいことなどを話し合う。

STEP 5 各グループの振り返り

よく話題に上がったキーワードなどを報告。今回は、
・SNS などを活用して観光資源の PR していきたい
・女性の採用や起業支援を拡充してほしい
・もっと意見交換会のような場があると嬉しい
などといった意見が出ていました。

三沢市議会議員と意見交換をしてみませんか？

三沢市議会では毎年、市民の皆様と意見交換をしています。今回の若手起業家の方だけでなく、これまでも高校生や子育て世代の皆様からもたくさんの思いを聞かせていただきました。お一人からでもご参加いただける場ですので、次回意見交換会開催の際はぜひお気軽にご参加ください！

◀過去の意見交換会の様子や出された意見などをご覧いただけます。
令和7年度のものも公開しております！

▼お申込みの際はこちら

議会事務局
msw_gikai@misawashi.aomori.jp

令和8年第1回定例会

41議案が議決
令和8年度当初予算　可決

令和8年三沢市議会第1回定例会が、3月2日から3月17日までの16日間の会期で開かれました。

本会議初日には、令和8年度の一般会計及び各特別会計、令和7年度補正予算などの議案が上程され、市長から提案理由の説明がありました。

5、6日には、6名の議員による市政に対する一般質問が行われ、11日～13日には、条例等審査、補正予算審査、当初予算審査などそれぞれ付託された議案の審査のため、特別委員会が開催されました。

17日の本会議最終日には、各委員会から付託議案の審査結果報告があり、同日までの本会議において上程された市当局の追加議案及び議員提出議案を含めた全41議案が原案どおり議決されたほか、加澤明議長及び佐々木卓也副議長の辞任に伴う選挙が行われ、新たに瀬崎雅弘議長、下山光義副議長が選任されました。

○…賛成　×…反対　欠…欠席　退…退出　－…議長は表決に加わりません。
除…除斥（審議案件と一定の利害関係を有するため審議に参加することができない者）

議案	結果（賛成：反対）	市民クラブ												かがやき		緑クラブ		無会派		
		加澤明	浅野一朗	小比類巻大晃	久保田隆二	舩見昌功	小比類巻孝幸	下山光義	佐々木卓也	瀬崎雅弘	小比類巻雅彦	馬場騎一	遠藤泰子	西村盛男	澤口正義	堤喜一郎	鈴木重正	奥本菜保巳	春日洋子
議案第４号～１１号	可決（16：0）	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
議案第１２号～１３号	承認（16：0）	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
議案第１４号～３６号	可決（16：0）	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
議案第３７号	同意（16：0）	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
議員提出議案第１号	可決（16：0）	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
議員提出議案第２～７号	可決（16：0）	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	欠	○

※本会議の途中で選挙により、加澤明議長から瀬崎雅弘議長に交代となりました。

■提出議案一覧（要旨）

■ 議案第4～11号
令和8年度一般会計、各特別会計、各事業会計の当初予算

■ 議案第12～13号
令和7年度一般会計補正予算
庁舎災害復旧事業、除雪業務委託料などに要した経費の専決処分の承認

■ 議案第14～20号
令和7年度一般会計、各特別会計、各事業会計の補正予算

■ 議案第21～34号
【行政運営】　行政手続条例の一部改正
【人事・給与】　任期付職員の採用、職員の勤務時間・休暇、給与、非常勤特別職の報酬等に関する条例の制定及び一部改正
【税制】　特別災害による被害者に対する市税減免の特別措置に関する条例の一部改正
【教育】　奨学金条例の一部改正
【福祉】　乳児等通園支援事業、介護保険条例の一部改正
【生活環境】　衛生センター、市民いきいき農園、地方卸売市場三沢市魚市場条例の一部改正
【インフラ】　道路占用料徴収条例の一部改正
【防災】　火災予防条例の一部改正

■ 議案第35号
市道の路線の認定

■ 議案第36号
令和8年度一般会計の補正予算
県の学校給食費無償化等子育て支援市町村交付金の拡充に伴う2歳児以下の保育料無償化に要する経費の補正

■ 議案第37号
監査委員（中野渡進氏）の選任

■ 議員提出議案第1号
市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

■ 議員提出議案第2～3号
基地対策特別委員会、学校等整備対策特別委員会の設置

■ 議員提出議案第4～6号
各常任委員会の閉会中における所管事務調査の実施

■ 議員提出議案第7号
議会運営委員会の閉会中における継続審査

専決処分とは？

緊急時など、議会を開く時間がない場合に、市長が先に決定し、後から議会の承認を受ける仕組み。

議案件名や過去の議決結果はHPに掲載しています▶

3月12日開催

補正予算審査特別委員会

◎小比類巻孝幸　○浅野一朗　小比類巻大晃　舩見昌功
遠藤泰子　奥本菜保巳　澤口正義　小比類巻雅彦

◎：委員長　○：副委員長

補正予算９議案については、8名の議員による補正予算審査特別委員会を設置し、審査しました。主な質疑は次のとおりです。

議案第12号
一般会計補正予算（第7号）

Q 庁舎災害復旧事業の内訳は？

A 12月8日に発生した地震に伴う大会議室の天井復旧経費として、設計業務委託費181万9千円、天井の撤去工事168万3千円、復旧工事1899万7千円を計上している。工期は6月30日までを予定。

議案第13号
一般会計補正予算（第8号）

Q 除雪に関する苦情は何件きているのか？

A 101件苦情が来ており、主な内容は、除雪が来ない、寄せ雪に関するもの。

議案第14号
一般会計補正予算（第9号）

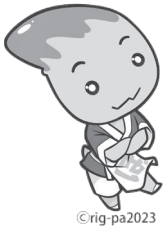
Q 漁業者経営支援補助金の内容は？

A 漁獲水量は、スルメイカを除き令和6年から550・8ﾄﾝ減少しており、ホッキガイなどの漁獲制限の影響もあり、漁業者は大幅な収入減となっている。

漁業者の経費安定化を目的として、三沢市小型船部会に所属する51隻の船を対象に、漁協などから購入した漁具購入額の10％を補助するもの。

Q ホッキガイの稚貝放流を行っても、簡単に資源保護・資源回復はできないのでは？

A 自然環境の変化に対しての畜養の有効性について勉強しながら、事業を進めていきたい。



3月11日開催

条例等審査特別委員会

◎下山光義　○久保田隆二　鈴木重正　瀬崎雅弘
西村盛男　春日洋子　馬場騎一　堤喜一郎

◎：委員長　○：副委員長

条例等15議案については、８名の議員による条例等審査特別委員会を設置し、審査しました。主な質疑は次のとおりです。

議案第22号
一般職の任期付職員の採用

Q どのような人材の採用を見込んでおり、その採用方法は？

A 行政内部では得ることの出来ない、専門的な知識や経験を有した外部人材を採用したいと考えている。具体的には、危機管理分野やIT関係のデジタル分野の人材などで、任期は最高5年とし、公募をかけながら市として求める知識、経験がある方を採用していきたい。

議案第24号
特別職の費用弁償

Q 制度の具体的な変更内容は？

A 県外での公務などの際に支給していた日当を新設する。また、旅行会社と契約した場合、直接市から支払うことが可能になる。

議案第29号
介護保険条例の一部改正

Q 令和8年度分保険料の特例として、申請によらず減免する方というのはどういう方なのか？

A 年金以外の所得がある方で、給与所得控除の最低保証額が引き上げられたことで、令和7年度非課税扱いだった方が、課税扱いとなる可能性がある。そのような方を申請なく減免にできるようにするもの。

議案第32号
魚市場条例の一部改正

Q 指定飲食料品等とはどのようなものを指し、どのような場に公表されるのか？

A 指定飲食料品等とは、魚市場の中で水揚げされた魚介類のことを言い、公表は魚市場内で掲示する他、市ウェブサイトなどで行う。

議案第34号
火災予防条例の一部改正

Q 火気設備等に簡易サウナを追加するが、市内には何箇所設置されているのか？

A 市内にサウナ施設は9カ所ある。すべて温泉・ホテルに付随する一般サウナ設備であり、簡易サウナは設置されていない。また、安全点検の結果、個室サウナはなく、扉にドアノブがないことを確認している。

簡易サウナとは？

テント型サウナや木製で円筒型のバレル型サウナの中に設ける放熱設備で、定格出力が6キロワット以下のもので、まき又は電気を熱源とするものをいう。
周囲にある可燃性の物品等から火災予防上安全な距離を保ち、温度が異常に上昇した場合に熱源を遮断する安全装置の設置が必要となる。

3月13日開催

当初予算審査特別委員会

◎堤　喜一郎	○西村盛男	浅野一朗	小比類巻大晃
久保田隆二	舩見昌功	小比類巻孝幸	鈴木重正
遠藤泰子	下山光義	澤口正義	瀬崎雅弘
春日洋子	小比類巻雅彦	馬場騎一	

◎：委員長　○：副委員長

令和８年度当初予算9議案については、15名の議員による当初予算審査特別委員会を設置し、審査しました。主な質疑は次のとおりです。

議案第４号　一般会計予算

Q「書かない窓口」導入費の事業内容は？

A 手続きの際、複数窓口で同じ内容を記入しなければならないなどの課題解決のため、システムで本人確認書類を読み取り、職員が聞き取りのうえ書類作成や案内票を発行する。

Q ＭＩＳＡＷＡプロモーションリーダーズの今後の活用は？

A 令和８年度は、冠協賛試合への出席、みさわぐるっとバスの車内アナウンス、観光ガイドブックへの写真掲載などを計画している。

Q 市内小中学生の国スポを観戦する機会や市として選手を迎え入れる準備は？

A 小学５・６年生、中学１・２年生については学校観戦を行い、それ以外の学年の児童・生徒は、「親子学び休暇制度」を活用して観戦いただきたい。また、冬季大会の際に市内小中学校で作成いただいた応援のぼり旗も、各都道府県分作成する計画となっている。

▶冬季大会の際の応援のぼり旗。各都道府県の特産品や観光名所など様々描かれている。

Q 地産地消でわんぱく家族米支給事業の内容は？

A 18歳以下の子を養育する子育て世帯に対し、子ども一人当たり５千円のお米券を支給する。対象世帯は３２０１世帯、対象人数は５４１９人。

Q 統合型校務支援システムの内容は？

A 上十三地区の８自治体で使用している共通の校務支援システムであり、児童・生徒のデータのシステム管理や教職員同士の情報共有も可能なため、教職員の働き方改革につながるものと考えている。

Q 地域こどもの生活支援強化事業補助金の対象は？

A 子ども達が安心・安全で気軽に立ち寄れる場での体験や地域との交流などから支援の必要な子どもを早期に発見・支援し、地域の支援体制強化を目的としており、こども第三の居場所や地域食堂に対しての運営補助金を想定している。

Q 三沢空港の（仮称）第三駐車場の整備内容は？

A 乗用車２７０台分を整備し、出入庫用のゲートや外周にフェンスなどを設置する。歩道への防滑対応やスロープを設置する予定。

Q 新規の移住・定住施策のＰＲ方法、大学へ周知依頼するなどの考えは？

A 広報や移住サイト、ＳＮＳを活用し、周知を図り、多くの学生に制度を知ってもらうため、有効な方法を検討してまいりたい。

移住・定住対策新規事業

○移住者ネットワーク構築業務委託料
移住希望者、先輩移住者を対象に、移住後も安心して相談ができるコミュニティ形成のためのイベントなど。

○学生地域参画助成金
Ｕターン促進のため、県外学生が市内イベントの企画運営に参画した際、交通費・宿泊費を助成。

このほか、起業する県外からの移住者や東京圏の大学卒業者を対象とした支援などが新設される。

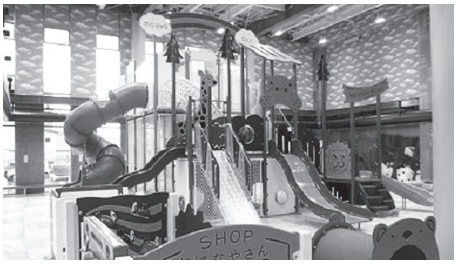
Q 産後ケア事業委託料の変更点は？

A この事業は、出産後１年以内の産婦と乳児で、家族の支援が受けられない方や産後ケアが必要な方に対し助産院などで保健指導や心理的ケアを行うもの。

令和８年度からは、市立三沢病院で宿泊型のケアが追加となる。１回につき１泊２日、年５回まで利用でき、利用料金は１回４千円。減免により、１５００円と食事代のみで利用することができる。

Q そらいえの遊戯室が狭い、走り回れないとの声があり、他自治体では未就学児以上も使える施設がある。市としての考え方は？

A 他自治体の事例は承知しているが現状、運用だけで改善を図ることは難しい。別の方策がないかなど様々調査・研究してまいりたい。



▲キッズセンターそらいえ。遊戯室の利用人数は年3万～4万人で推移している。

西村盛男（にしむら　もりお）議員

歯と口の健康づくりについて

Q これまでの取り組み状況は？

A 当市では、早期からの虫歯予防に取り組んでおり、12歳児のＤＭＦ指数（虫歯や治療した歯の本数を合計した指標）が県内10市で最も良好な水準であるなど、成果が表れてきている。

一方で、成人期の歯周病検診受診率向上等が今後の課題であるため、引き続き関係機関等と連携し、各ライフステージにおける切れ目のない取り組みを進めていく。

不登校支援について

Q 当市の現状は？

A 不登校児童・生徒の出現率は、全国及び県の値を下回っているものの、増加傾向にある。

近年の不登校の要因は一層多様化してきており、学校だけで全ての課題に対応することが難しくなっている。

Q 現在の支援体制は？

A 令和７年度は、各相談員等による校内支援体制の強化を図った。さらに、教育相談センターにおいても、保護者等からの相談業務や通室している児童・生徒の個別学習支援にあたっている。

Q 今後の支援策は？

A スクールソーシャルワーカーの効果的配置、不登校支援ガイドラインの整備、保護者向けセミナーや相談会の開催をはじめ、教育、福祉、民間団体等の連携を深めながら、「誰一人取り残されない学びの保障」に向けたきめ細かな対応に取り組んでまいりたい。

教育相談センターとは？

国際交流教育センター内に、学校へ行けないなど様々な悩みや心配事の相談を受ける「教育相談室」と不登校の児童・生徒の学校復帰に向けた手伝いをする「ビードルーム」を設置している。教育相談員２人と適応指導員３人が常駐しており、気軽に相談することができる。
利用方法など詳しくはこちら▶

check
各議員の一般質問は
議員写真横の二次元コードを読み取り
ＹｏｕＴｕｂｅで視聴することができます

鈴木重正（すずき　しげまさ）議員

防災対策について

Q 青森県東方沖地震における市の対応等についての総括は？

A 市として、今回の地震において課題等もあった中で、大きな混乱もなく対処・対応できたものと考えているが、今後、起こり得る自然災害等に万全を期すことができるよう、引き続き、有事を想定した防災訓練を実施し、振り返りにおいて生じた課題を解決していくことで、防災力の向上に努めてまいりたい。

Q 津波浸水想定区域内に福祉施設が所在しているが、その事業所が防災対策として市内の津波浸水想定区域外への移転を希望する場合、行政として講じられる支援策は？

A 行政として講じられる支援策は、国土交通省の「都市構造再編集中支援事業」や、厚生労働省の「災害イエローゾーンに所在する広域型介護施設等の改築整備事業」、「社会福祉施設等施設整備費」を活用した介護施設等の整備などが挙げられる。

市として、福祉施設は津波の発生に際し、配慮を必要とする皆様が利用する施設であることを踏まえ、事業の採択に当たり適合する要件を確認するとともに、移転を希望する事業者には、関係課と連携して各制度の説明を行うなどの支援に努めてまいりたい。

そのほか、職場として「選ばれる三沢市」づくりについて、「市民のちかい」、「三沢市民の歌」について質問しました。

三沢市民の歌

1　東（ひんがし）の　海原よぎり
郷土を翔ける　翼よ風よ　その空その名
われらの三沢　われらの三沢市

2　みはるかす　上北の上北の野に
歴史を拓く　緑よ湖（うみ）よ　この土その名
われらの三沢　われらの三沢市

3　築き行く　ふるさとの街　幸を育てん
友らよ皆よ　その愛その名
われらの三沢　われらの三沢市

春日洋子（かすが　ようこ）議員

行政問題

Q 出生届のオンライン申請の導入についての見解は？

A 法務省が整備予定の戸籍情報連携システムを介した、出生届のオンライン申請の開始に合わせた運用開始を考えている。

Q 視覚障がい者の移動と情報をサポートするアプリ「ナビレンス」の導入についての見解は？

A まずは公共施設から導入したいと考えており、さらには地域福祉団体や視覚障がいのある方からもご意見をいただき、公共施設以外の必要な場所にも導入を検討してまいりたい。

ナビレンスとは？

4色からなる二次元コードを専用の無料アプリで読み取り、目的地の内容や距離、方向など案内表示するとともに、音声案内をしてくれる移動支援ツール。世界36 言語での情報発信が可能であり、障がいの有無、国籍に関係なく、情報支援ツールとして様々な場面で活用できる。

Q ヤングケアラーを含めたケアラーに関する条例の制定についての見解は？

A ケアラーに対する市民の理解促進や意識の醸成を図ることが重要であり、条例の制定については、他の自治体の事例を参考にし、調査・研究してまいりたい。

Q 80歳以上の高齢者を対象とした新型コロナワクチン接種費用の助成についての見解は？

A 65歳以上の高齢者すべての高齢者に重症化リスクがあり、年齢のみの区切りによる費用助成の拡大については慎重に検討する必要があると考えている。

Q 幼稚園児から高校生までの肥満傾向に向けた取り組みは？

A 子どもの肥満対策は、家庭の食生活や日頃からの運動が大切であり、今後もマックテレビを活用した啓発など、実効性のある施策を進めてまいりたい。

check

各議員の一般質問は
議員写真横の二次元コードを読み取り
YouTubeで視聴することができます

遠藤泰子（えんどう　やすこ）議員

行財政マネジメントについて

Q 歳入の伸び悩みや経費の増大が見込まれ、当市の財政は厳しさを増すものと危惧している。市の財務体力があるうちにマネジメント強化を進めるべきと考えるが、市の取り組みは？

A 社会保障施策、人件費、物価高騰に伴う各種経費の増加が見込まれる。経費の精査の徹底、事業の優先順位の見直しなど、持続可能な財政運営に取り組んでいる。

Q 総務省の経営アドバイザー派遣事業を活用し、客観的な視点による経営財務マネジメント強化を図るべきと思うが市の見解は？

A これまで、公営企業の経営等に関する取り組み等において派遣を受けている。公共施設等総合管理計画やＤＸの推進など、必要に応じてアドバイザー派遣を活用してまいりたい。

街路樹について

Q 街路樹には、環境保全機能や交通安全機能などの役割がある一方、倒木や枝折れなどの課題もある。維持管理の取り組みは？

A 市内には、ユリノキやケヤキなど約１３００本が植栽されており、樹木診断費用は3カ年平均で６１８万円となっている。現状把握に努め、適切な維持管理を実施してまいりたい。

Q 適切な維持管理を行うために、他自治体では維持管理方針を定めているが、方針策定についての見解は？

A 維持管理方針は全国多くの自治体で策定しており、剪定、点検、伐採などに関する維持管理基準を設定している。他自治体の事例を参考に検討してまいりたい。

▲街路樹の松の木。冬にはこも巻きなどを行い、管理している。

浅野　一朗（あさの　いちろう）議員

行政問題

Q 三沢市の移住・定住対策の取り組みは？

A 主な取り組みとして、首都圏での移住相談会へのブース出展、生成ＡＩを活用したＬＩＮＥの移住相談システム、ＳＮＳを活用した三沢市の魅力発信など様々な手段で取り組んでいる。

今後は、新たな施策として若者への支援として、県外在住の学生が三沢市のイベントに参画する際に要した交通費の一部を助成する「学生地域参画助成金」を創設したいと考えている。

また、上十三圏域という広い枠組みで対策も行っており、市単独では届かなかったターゲット層へのアプローチも行い、これからも積極的に移住・定住促進に取り組んでまいりたい。

Q 三沢市のカスタマーハラスメントへの取り組みは？

A 厚生労働省のカスタマーハラスメント対策企業マニュアルに基づき、実態調査のため職員に対しアンケートを行った。

アンケート結果の主な内容は、１時間近くの電話対応、暴力をほのめかす言動、職員に対する誹謗中傷等となっている。職員が安心して働くことができ、市民の方々が不安なく市役所を利用できるよう対策を講じていきたいと考えている。

具体的には令和７年度に厚生労働省から防止指針が公布されたため、それに基づき必要な体制をマニュアルの整備という形で可能な限り早く努めてまいりたい。

カスタマーハラスメント（カスハラ）とは？

顧客などが従業員や企業に対して、過剰・理不尽な言動や要求をして、就業環境を害する行為を指す。
具体的に、暴言・侮辱、過度な要求、暴力・脅迫、執拗なクレーム、プライバシーの侵害、セクシュアルハラスメントなどがあり、一見するとクレームに見える行為でも、度を超えた振る舞いが続くとカスハラに該当する場合がある。

小比類巻　大晃（こひるいまき　ひろあき）議員

行政問題

Q ＦＣＰ（家族継続計画）を普及する考えは？

A ＦＣＰは災害時に家族を守る役割を果たし、地域防災の要となる自助を高める有効な取り組みと認識している。機を捉え、普及に努めてまいります。

Q 本市の防災事業などに、ＦＣＰを計画できるブースを設けては？

A 三沢市総合防災訓練、防災フェアの会場の一部にＦＣＰを示すほか、防災に関するパネル展示を行った際にもＦＣＰの周知、普及活動に努めてまいりたい。

Q 防災メールなどの登録者数を増やす取り組みは？

A 現在の登録者数は、防災メール８３９１人、公式ライン３６９７人。防災訓練や防災フェア、出前講座など利用し、二次元コードを読み込めば登録に進むようにしていきたい。また、市役所１階の誰もが見える所に掲示するなど、引き続き登録数を増やす努力をしてまいりたい。

ＦＣＰとは？

速やかな避難実施のため、あらかじめ避難経路や持ち出し品リストなどを家族全員で共有する計画。必要に応じて改善を加え、災害に備える。

Q 第二次三沢市空家等対策計画の進捗状況は？

A 市の広報などで発生予防や適正管理の重要性について周知を図り、空き家取り壊し費用の一部助成を実施している。令和８年４月の空き家バンク開始に向け、利用促進の支援策など整備を進めている。

Q 防災の観点から特に空き家が集中している地区の補助金の見直し、増額などを行う考えは？

A 令和８年度から一般空き家の取り壊し補助金上限額を30万円に引き上げたいと考えている。今後も燃料費の高騰などにより費用の増加が予想されるため、適宜内容を精査しながら進めてまいりたい。

令和8年第1回 臨時会

続く物価高騰に
全市民へ商品券配布

令和８年１月13日、令和８年三沢市議会第１回臨時会が開催されました。

本臨時会には、物価高騰に対応した子育て応援手当の支給や水道料金の負担軽減、生活困窮者への灯油購入に要する予算措置のほか、物価高騰の影響を受ける市民への負担軽減を図るため、全ての市民１人あたり１万円の生活支援商品券の配布に要する経費を補正する、令和７年度一般会計補正予算の議案３件が提出され、原案どおり議決し、閉会しました。

○…賛成　×…反対　欠…欠席　退…退出　―…議長は表決に加わりません。
除…除斥（審議案件と一定の利害関係を有するため審議に参加することができない者）

議案	結果（賛成：反対）	市民クラブ											かがやき		緑政クラブ		無会派		
		加澤　明	浅野一朗	小比類巻大晃	久保田隆二	舩見昌功	小比類巻孝幸	下山光義	佐々木卓也	瀬崎雅弘	小比類巻雅彦	馬場騎一	遠藤泰子	西村盛男	澤口正義	堤　喜一郎	鈴木重正	奥本菜保巳	春日洋子
議案第　1号～2号	承認（17：0）	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
議案第　3　号	可決（17：0）	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○

■議案第3号　一般会計補正予算（第6号）
三沢市物価高騰生活支援商品券配布事業
各種物価高騰の影響により、家計がひっ迫している三沢市民に対する生活支援と消費喚起による地域経済の活性化を目的として、三沢市物価高騰生活支援商品券を要件を満たす全市民に配布する事業。

基地対策特別委員会

◎小比類巻　雅彦　○春日　洋子　浅野　一朗　舩見　昌功
小比類巻　孝幸　澤口　正義　西村　盛男　馬場　騎一

■開催日　令和8年3月4日
■内容
①令和7年度三沢基地周辺対策に関する要望の進捗状況について

総括　令和６年から約２年間、国等に対して、三沢基地周辺対策に関する要望活動を積極的に実施してきた。

民生安定と経済発展に欠かすことのできない項目ばかりであるが、特に、岡三沢５・６丁目地区の移転については、市当局とともに粘り強く要望を続けた結果、令和７年12月に国から当該地区すべてが移転措置区域に指定されることが発表された。このことは本委員会の積極的な活動の成果であると認識している。

①市当局より要望の進捗状況についての説明がなされ、第一種区域等の見直しに関する住宅防音工事の経過措置の適用など、着実に進んでいるものがある一方で、国の制度の壁により、思うような進捗を見ることができなかった事案もあった。

また、現在、三沢基地では米軍のF16戦闘機からF35A戦闘機への機種更新が進められ、今後、航空自衛隊に配備される戦闘機と合わせると、90機のF35A戦闘機が常駐することとなり、航空機騒音の増大が懸念されるため、引き続き市民の不安解消に努めていかなければならないと考えている。

よって、今後も三沢基地の動向を注視しつつ、より一層、基地周辺対策に関する活動を推進していくべきであるとの意見を申し添え、本委員会からの報告とする。

▲令和7年11月に実施した重点要望行動において宮崎政久防衛副大臣（中央右）に要望書を手交する小檜山市長（中央左）と加澤議長及び基地対策特別委員会委員。

◎：委員長　○：副委員長

学校等整備対策特別委員会

◎瀬崎雅弘　○久保田隆二　小比類巻大晃　鈴木重正
遠藤泰子　下山光義　奥本菜保巳　堤喜一郎

■開催日　令和8年2月25日
■内容
①その他建築系公共施設
②供給処理施設

①三沢市火葬場、三沢市大町ビードル駐車場、三沢市交通防犯センター、三沢市CATV施設(光ファイバー中継局)、行政書庫、三沢市国際交流スポーツセンター備蓄倉庫及び旧桜町官舎について、施設の概要や利用状況、課題、今後の方針など説明があった。旧桜町官舎は、令和8年度から2年をかけて解体し、駐車場として整備するとのこと。
②上水道施設13施設、下水道施設5施設、三沢市清掃センター、三沢市衛生センターについて、施設概要や維持管理費、課題、今後の方針などについて説明があった。

【意見】

稼働を停止した一部の配水場が、書庫として利用され、毎年電気代が発生している。財政的に厳しい状況と思うので、全体的に必要かどうかを見直してほしい。

▲解体予定の旧桜町官舎。平成29年に国から購入し、令和5年に解体設計、石綿含有建材調査を行っていた。

総括

この2年間で、建築系公共施設について一通り調査を終えることができ、一定の成果を果たせたものと考えている。

老朽化が進む施設の大規模改修や集約に関する検討が先送りされていることや近年の物価高騰等の影響による維持費の確保等財政面の負担削減についても、今後も継続して検討、実施していかなければいけないものであり、三沢市公共施設等総合管理計画が効率的に実行されることを願うものである。

民生常任委員会

◎遠藤泰子　○久保田隆二　小比類巻孝幸
奥本菜保巳　瀬崎雅弘

■開催日　令和8年3月4日
■内容
①廃棄物の適正処理と環境美化
1. 小型充電式電池等の収集状況
2. ごみ集積容器設置助成金
3. 不法投棄の現状と対策
②避難行動要支援者避難支援計画

①小型充電式電池等については、今後回収ボックスの設置協力を候補拠点施設へ依頼・収集する予定であり、ごみ集積容器設置助成金については、1基上限4万円から4万5千円への要望があり、前向きに検討する旨の説明があった。不法投棄の現状と対策として、啓蒙活動の強化や公式LINEによる市民からの通報を考えている。

【質疑応答】

Q リチウムイオン電池による事故は起こったことがあるのか?

A 令和6年度に埋立地から火災が発生しており、原因は定かではないが、恐らくリチウムイオン電池によるものと推察している。

Q 市内のごみの集積箇所の数は?

A 集積箇所は約1700カ所ある。

②この計画は、災害時に自力で避難することが困難な方のため、災害時に円滑に避難できる体制づくりと避難生活の支援強化を目的としているとの説明があった。

【質疑応答】

Q 個別避難計画作成について未回答の方に対する対策は?

A 未回答の方へは再送付し、広報などで必要性を周知していく。

Q 避難行動要支援者名簿登録対象者の全体数は?

A 対象者数は約7千人である。

▲三沢市で広く使われているごみ集積容器。地域により設置条件が異なるため、形状は定められていない。

個別避難計画

▲個別避難計画(抜粋)。事前に計画を作成し、関係者等に提供することで、災害時の避難支援に役立てる。

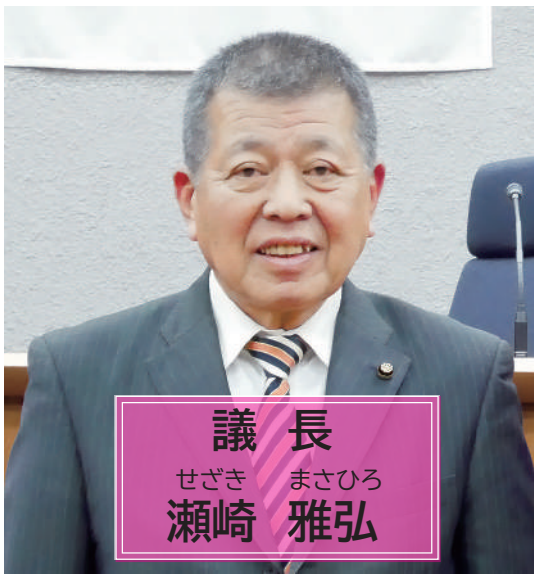
◎：委員長　○：副委員長

三沢市議会新体制発足

3月17日、令和8年第1回定例会最終日において正副議長の選挙が行われ、新たに瀬崎議長、下山副議長が当選しました。また、それに伴い各委員会委員の選任を行いました。

副議長
しもやま　みつよし
下山　光義

【副議長選挙に伴う所信表明の要約】
副議長の大事な役割として広報広聴活動がありますので、あらゆる告知媒体などを活用しながら情報発信力を強化することで、議会への信頼に繋げていきたい。副議長として、議長を支え補佐することが重要な役割であり、重責に真摯に向き合い、職務を全うしてまいります。



議長
せざき　まさひろ
瀬崎　雅弘

【議長選挙に伴う所信表明の要約】
市民の皆様の意見を市政に反映出来るように、市民との意見交換会の更なる充実･発展を含めた議会改革に努め、公平･公正な議会運営を図るとともに、議会機能の充実、議会が市民の皆様に身近に感じ、厚い信頼が得られよう誠心誠意、努めてまいります。

特別委員会

基地対策特別委員会

所管：基地周辺住民の民生安定と福祉向上に資するための基地所在に起因する諸問題に関すること

委員長	加澤　明
副委員長	小比類巻　雅彦
委員	小比類巻　大晃
委員	久保田　隆二
委員	遠藤　泰子
委員	春日　洋子
委員	馬場　騎一
委員	堤　喜一郎

学校等整備対策特別委員会

所管：学校や公共施設の老朽化への対応や対策に関すること

委員長	佐々木　卓也
副委員長	浅野　一朗
委員	舩見　昌功
委員	小比類巻　孝幸
委員	鈴木　重正
委員	奥本　菜保巳
委員	澤口　正義
委員	西村　盛男

議会運営委員会

所管：円滑に議会を運営するための事項に関すること

委員長	馬場　騎一
副委員長	小比類巻　雅彦
委員	浅野　一朗
委員	久保田　隆二
委員	佐々木　卓也
委員	加澤　明
委員	西村　盛男
委員	堤　喜一郎

協議の場

広報広聴委員会

所管：議会の広報誌、市民との意見交換会など、広報広聴に関すること

委員長	小比類巻　大晃
副委員長	久保田　隆二
委員	浅野　一朗
委員	小比類巻　孝幸
委員	澤口　正義
委員	加澤　明
委員	西村　盛男

議会改革推進会議

所管：議会基本条例の目的が達成されているかの検証、その他議会改革に関すること

委員長	遠藤　泰子
副委員長	佐々木　卓也
委員	小比類巻　大晃
委員	舩見　昌功
委員	奥本　菜保巳
委員	春日　洋子
委員	小比類巻　雅彦
委員	堤　喜一郎

各派交渉会

所管：議長が必要と認める事項について、各会派間の連絡調整

議長	瀬崎　雅弘
副議長	下山　光義
議員	佐々木　卓也
議員	加澤　明
議員	西村　盛男
議員	小比類巻　雅彦
議員	馬場　騎一
議員	堤　喜一郎

総務文教常任委員会

委員
つつみ　きいちろう
堤　喜一郎

委員
こひるいまき　まさひこ
小比類巻　雅彦

委員
しもやま　みつよし
下山　光義

委員
えんどう　やすこ
遠藤　泰子

副委員長
こひるいまき　ひろあき
小比類巻　大晃

委員長
こひるいまき　たかゆき
小比類巻　孝幸

産業建設常任委員会

委員
ばば　きいち
馬場　騎一

委員
かすが　ようこ
春日　洋子

委員
かざわ　あきら
加澤　明

委員
くぼた　りゅうじ
久保田　隆二

副委員長
あさの　いちろう
浅野　一朗

委員長
さわぐち　まさよし
澤口　正義

民生常任委員会

委員
おくもと　なおみ
奥本　菜保巳

委員
ささき　たくや
佐々木　卓也

委員
すずき　しげまさ
鈴木　重正

副委員長
にしむら　もりお
西村　盛男

委員長
ふなみ　まさのり
舩見　昌功

常任委員会・特別委員会・協議の場とは？

市議会では、本会議だけでなく、さまざまな「話し合いの場」を通して議論を重ねています。

常任委員会　本会議での質疑終了後にさらに詳しい検討をするため、審査を託された議案などの審査や市の事務に関する調査をそれぞれ分担して行います。

特別委員会　特定のテーマや重要な課題について集中的に調査・審査するための委員会です。目的が達成されると終了します。

協議の場　議案などに対する可否（賛否）を決定する場ではなく、議員同士が意見交換や情報共有を行うための場です。課題への理解を深め、円滑な議会運営につなげています。

それぞれの役割を生かしながら、市民生活に関わる課題について丁寧な議論を重ねています。

請願・陳情の提出方法

1. 記載内容
   ⑴請願(陳情)の名称
   ⑵請願(陳情)の趣旨と要望事項
   ⑶請願(陳情)者の住所、氏名、押印
   （2名以上の場合は代表者名）
   ⑷請願の場合は紹介議員の署名または記名押印
   ⑸提出年月日
   ⑹宛名(三沢市議会議長宛)
2. 提出場所
   議会事務局(市役所本館4階)
3. 受付締切
   請願：定例会の招集が告示される日の前日
   （定例会開会日の 12 日前頃）
   陳情：招集告示日
   ※締切後の提出の場合は次回定例会での取扱い
4. 受付時間
   8時15分～17時00分(土日祝除く)

▸こちらの内容は市HPでも掲載しております。

行政視察報告

他自治体の先進事例を学び、市政に活かします！
①:日程 ②:視察先 ③:視察案件

個人視察 佐々木卓也

①4月27日～5月6日
②アメリカ合衆国ウェナッチ市、東ウェナッチ市
③三沢市姉妹都市友好親善使節団派遣

視察報告は順次、市 web サイトに掲載しています。

議会マメ知識「二元代表制」とは？

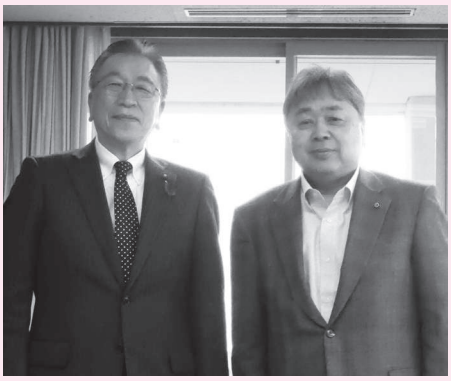
議員と首長(市長)を市民が直接選挙で選ぶことを二元代表制といいます。市長は市の行政運営を担い、議会はその内容を審議し、チェックする役割があります。お互いが独立した立場で役割を果たすことで、ひとつの考えに偏らない、バランスのとれた市政運営が図られています。

市議会の動き

2 月	
4 日	基地対策特別委員会行政視察（～ 6 日）
19 日	令和7年度意見交換会
24 日	議会運営委員会
	議会改革推進会議
25 日	学校等整備対策特別委員会
3 月	
2 日	令和8年第1回定例会　開会
3 日	議会改革推進会議
4 日	基地対策特別委員会
	民生常任委員会
5 日	議会運営委員会
	令和8年第1回定例会　一般質問

3 月	
6 日	令和8年第1回定例会　一般質問
11 日	条例等審査特別委員会
	広報広聴委員会
12 日	補正予算審査特別委員会
13 日	当初予算審査特別委員会
17 日	令和8年第1回定例会　閉会
27 日	広報広聴委員会
4 月	
17 日	広報広聴委員会
21 日	学校等整備対策特別委員会
27 日	ウェナッチ市姉妹都市交流（～5月6日）

議長の公務



▲相模原市議会議長大槻和弘氏（写真左）

令和 8 年 2 月 27 日、加澤議長は、神奈川県相模原市議会議長の表敬訪問を受けました。

このたび、大槻議長が全国市議会議長会基地協議会第 89 回総会において新会長として選任されたことを受け、その就任あいさつのため来訪されたものです。

三沢基地を視察した後、議長室において懇談を行いました。基地を抱える自治体が直面する諸課題について意見交換が行われ、終始和やかな雰囲気の中、今後の連携強化を確認し、訪問を終えました。

▶この他の議長公務や市議会の活動は、Facebook でも随時公開しています。右の二次元コードからご覧ください！

令和8年第2回定例会

会 期 日 程（予 定）

日	月	火	水	木	金	土
5/31	6/1	6/2	6/3	6/4	6/5	6/6
	議会開会 10時～			本会議 （一般質問） 10時～		
6/7	6/8	6/9	6/10	6/11	6/12	6/13
	条例等審査特別委員会 10時～	補正予算審査特別委員会 10時～		議会閉会 10時～		

※会期日程は、変更となる場合があります。
最新の日程はHPをご覧ください▶

あなたも市議会を傍聴しませんか？

01 傍聴とは？

傍聴は、議会公開の原則に基づき、本会議や委員会の様子を直接見聞きできる制度のことで、どなたでも傍聴することができます。

02 傍聴の方法は？

本会議の場合、市役所本館4階の傍聴受付で住所・氏名を記入し、傍聴券を受け取って入場します。
傍聴する際のルールはこちらをご覧ください▶

ぜひお気軽にお越しください！

〒033-8666 青森県三沢市桜町1-1-38 TEL 53-5500 FAX 52-7527
編集：三沢市議会広報広聴委員会
E-mail msw_gikai@misawashi.aomori.jp

三沢市議会

ナイス！ミサワ

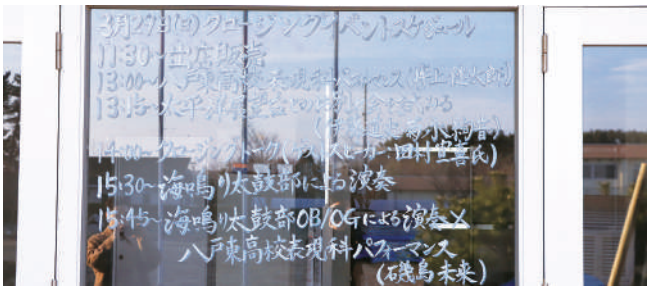
三沢のナイスな場所・人・イベントをご紹介！

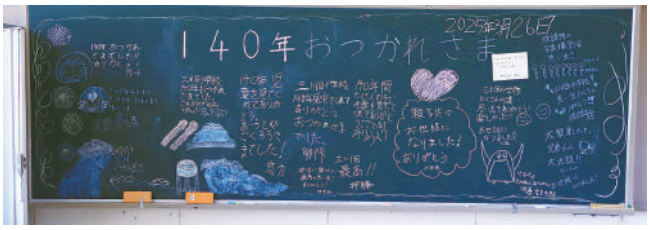
アートプロジェクト「she,see,sea,」

アートプロジェクト「she,see,sea,」は、令和６年度末に140年の歴史に幕を閉じた三川目小学校と淋代海岸を会場に、6名のアーティストが三沢市に滞在し、それぞれのリサーチで感じたものをもとに展覧会で発表を行いました。３月29日のクロージングイベントの様子、展示作品の一部をお見せします！

▲海鳴り太鼓部 OB/OG による演奏、八戸東高校表現科の生徒によるパフォーマンス。

▲東日本大震災の時に流されてしまった大太鼓を展示。





▲かつての卒業生が黒板に思い思いに感謝のメッセージを書いていた。

▲《太平洋展望台とのお別れ会を試みる》
取り壊し予定の太平洋展望台に対し、歴史や価値を共有しながら別れを告げる企画。

編集後記

三沢市議会では新たに正副議長が決まり、各委員会も新しい顔ぶれとなりました。

心機一転、市民の皆様の多様な声をより深く、より迅速に市政へと反映させるべく、議論を尽くしてまいります。本誌では、議会の動向を分かりやすくお伝えすることを常に心がけております。

変化の激しい時代だからこそ、議会をより身近に感じていただけるよう、編集委員一同、確かな情報を誠実にお届けしてまいります。今後ともご期待ください。

小比類巻 大晃

広報広聴委員会
委員長　小比類巻 大晃
副委員長　久保田 隆二
委員　浅野 一朗
小比類巻 孝幸
澤口 正義
加澤 明
西村 盛男